

巻頭言 「法人化に向けて」

一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会
会長 門田 光司

2008年度の文部科学省によるスクールソーシャルワーカー(以下、SSW)活用事業にて、福岡県内では18名のSSWが誕生しました。SSW始動の4月当初より、「福岡県スクールソーシャルワーカー連絡会」を発足し、月1回の研修や実践報告を行っていきました。そして、2010年度にはSSWの人数も24名となり、福岡県教育委員会や福岡市教育委員会ではスーパーバイザーへの予算化もされました。そして、SSWの専門性向上を一層推進していくために、「福岡県スクールソーシャルワーカー連絡会」を改め、「福岡県・学校ソーシャルワーク研究会」を発足し、規約を作り、事務局を設置し、広報活動と2か月に1回の研修を実施していくことになったのです。さらに、2012年度には、SSWの人数も62名となり、4つの県立高校にも1名ずつSSWが配置されることになりました。

このように、福岡県でのSSW活用事業は活性化の一途にあります。いくつかの課題も山積しています。1つは、SSWの専門性向上の課題です。日々、子どもたちへの支援で専門的実践を求められる状況において、SSWの専門性を向上するための研修やスーパービジョンの機会が少ないことです。2つめには、SSWの人材養成の課題です。SSW事業の活性化にともない、有能なSSWを確保していくためには人材養成が必要です。3つめには、SSWの身分保障の課題です。SSWが継続的に業務を続けていけるようになるためには、安定した身分保障が欠かせません。以上の実状を踏まえ、2012年9月に「福岡県スクールソーシャルワーカー協会」を設立したのです。

福岡県SSW協会規約第3条「目的」には、「本協会は、SSWの専門性の向上と人材育成、SSW事業の充実と発展、学校におけるソーシャルワーク(学校ソーシャルワーク)実践の普及啓発、さらには専門職団体としての法人化を目指し、支援を必要とする児童生徒の人権と教育および発達の保障に寄与することを目的とする」とあります。こ

に、いつか法人化をする趣旨が掲げられています。そして、2019年8月11日(土)の本協会運営委員会にて報告された会員数は、正会員128名、準会員14名、賛助会員89名、学生会員10名、新規入会者25名の総数266名です。今後も会員の増員が想定されることに加え、福岡県教育委員会や福岡県内の市町村教育委員会において、本協会は職能団体として認識されており、SSW推薦依頼なども受けてきました。このような実状から、個人の集合体である組織から、社会的信用性が高い一般社団法人という組織に変更していくことを運営委員会では決断したのです。そして、2019年12月14日(土)の第2回臨時総会にて一般社団法人化の承認が得られました。

一般社団法人になることで、本協会が公益性(不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する)団体であることを対外的にアピールすることになり、社会的信頼性が高まります。また、法人としての活動では、教育委員会や他の専門職団体(福祉、医療、法律、他)とも協働した取り組みを一層推進していくことが可能となります。さらに、子どもたちのアドボカシーに向けた相談支援事業や地域における子どもたちの居場所づくりといった社会資源の開発にも取り組んでいくことができます。

SSWは子どもたちへの支援に際して、「チーム」による協働を推進していく役割があります。そのSSWたちが集まった本協会が一般社団法人になることで、より強固なSSWの「チーム」組織となり、子どもたちへの支援に向けた新たな開拓的取り組みを進めていくことができます。また、ピアSSWの職能団体として、互いに協力し合い、より一層の専門性向上を目指してできると思います。今後とも子どもたちへの支援推進に向けて、フロンティア・スピリットで共に本協会を発展させていきましょう!

法人設立記念第9回大会開催決定！！

今年度の年次大会は法人設立記念大会を兼ねて大々的に開催したいと考えておりましたが、新型コロナウイルスの影響のためオンラインで実施することとなりました。この年次大会は非会員の方も参加できる唯一の協会企画です。オンラインならではの強みを活かした大会にしていきたいと考えておりますので、スクールソーシャルワーカーのみなさんのご参加をお待ちしています！！

一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会第9回大会

大会テーマ

コロナ禍のスクールソーシャルワーカー

— Social Work in School —

日時 2020年11月28日(土) 13:00-15:00

方法 ①オンライン(Zoom)+②オンデマンド(Youtube)

※①参加費納入確認後、招待メールを送付いたします。

②協会活動の紹介 MOVIE を限定公開にてお知らせいたします。事前のご視聴のうえ、ご参加ください

対象 一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会会員(正会員・賛助会員・学生会員)

全国で活動するスクールソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー

定員 100名(先着順 ※定員に達した時点で受付終了)

参加費 会員 1000円、非会員 1500円

主催 一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会

後援 日本学校ソーシャルワーク学会

申込方法 Peatix【参加費納入期限 11/25(水)】



【タイムスケジュール】

- | | |
|-------------|--|
| 13:00 | 開会行事 |
| 13:05-13:20 | 調査報告
「新型コロナウイルス対策による学校休校時での
スクールソーシャルワーカー活動状況に関する調査」
報告者 門田 光司(久留米大学) |
| 13:20-14:50 | シンポジウム ※途中休憩あり
「コロナ禍でのスクールソーシャルワーカーの活動」
シンポジスト 池田 敏(福岡市教育委員会)
井上 由紀(大牟田市教育委員会)
土井 幸治(志免町教育委員会)
コーディネーター 奥村 賢一(福岡県立大学) |
| 14:50-15:00 | 閉会行事 |



2020年2月研修会

日時 2020年2月22日(土) 14:00-17:30

場所 西南学院大学百年館 多目的ホール AB

テーマ 「カナダ・トロントの生徒サポートチームの実際」

講師 Tim Kenji Kamino 氏 (イズリントン・ジュニアミドルスクール副校長)



福岡県スクールソーシャルワーカー協会 2月研修を受講して

福岡市教育委員会 丹後 ちはる

令和2年2月22日、西南学院大学にて『肯定的な学校を創出するソーシャルワーカーの役割』とのことで Tim Kenji Kamino 先生のご講義を受講いたしました。前回の Tim 先生のご講義も大変勉強になるとても興味深いお話だったのでしたが、今回もトロントにおける子どもへの支援について感銘を受けたともに、福岡でも、日本でも取り入れていきたい内容ばかりでした。

特に印象に残っていることは、まずは、初期支援を行うための『In-School Support Team (IST)』と、他の専門職を交えて子どもの支援を検討する『School Support Team (SST)』の2段階構えで支援の組織が存在していることです。特に SST については、言語病理学や作業療法、理学療法、医学的判断も行う心理学の専門職チームが入るといったシステムが存在していることは非常に驚きました。日本でも SSW が気になる子どものケース会議に入ることは多々ありますが、上記のようなもっと細かいところをアセスメントできる専門職が会議に入ることにより子どもの状況を理

解・共有でき、子どもが学校生活を送る上で子どもの抱えているものに対して最も適切なアプローチができると感じました。

次に子どもが学校で困難を感じていると、そのニーズに着手するために上記 IST で共有されるための【個別学習プロフィール (ILP)】が作成され、それが継続的にモニタリングできる体制が整っていることです。日本の学校現場ではここまでシステム化された環境が整っている自治体はおそらくないのではないかな、と思いますが、世界でこのような取り組みができるのであれば、日本でも教育の文化に合わせたシステムができるのではないかと感じました。

その他にもトロントの SSW の役割であるとか、「What's your color?」のワーク、マインドフルネスの考え方等全て興味深く、あっという間の時間でした。

こうした海外の学校文化や SSW の取り組みの学習ができるのは FASSW 運営委員の方々の研修企画や先生方の世界とのつながりのおかげだと思います。本当にありがとうございました。



2019年4月研修会

日 時 2019年4月13日(土) 13:00-16:45

場 所 西南学院大学百年館 多目的ホールA

【第1部】13:30-15:00

テーマ「学校とその機能 スクールソーシャルワーカーに期待すること」

講 師 辻 和宏氏(福岡県教育庁教育振興部 指導主事)

【第2部】15:15-16:45

テーマ「スクールソーシャルワーカーの倫理 ～アメリカとわが国から～」

講 師 門田 光司(福岡県スクールソーシャルワーカー協会 会長)



研修レポート I

須恵町教育委員会 山内 未紗希

私たちSSWが学校現場で活動をしていくうえで欠かせない「生徒指導」について、その意義や役割等、基本的なことを改めて教えていただきました。その中でも「生徒指導は個人での対応ではなく、組織で対応するものである」という点が、ソーシャルワーク実践における「ネットワーク」と共通している、と改めて感じました。組織的な支援体制を作るにはお互いの役割を十分に理解しなければなりません。SSWとして、年度初めに、その役割や意義等を先生方に理解してもらい重要性を再確認できました。

また、「プロとして子どものせいにしない。家庭のせいにしない。」という言葉がとても印象に残りました。私たちは現場で、困難な課題や問題を抱えた子どもや家庭に出会うことが多くあります。その際に、誠実に子どもと家庭にプロとして向き合い、寄り添い支援していくことの大切さを改めて教えていただき、年度当初にとってもエネルギーをもらうことができました。ありがとうございました。

今回「ソーシャルワーカーの倫理」ということでお話しをいただきました。専門職としての価値や倫理基準について、ソーシャルワークでの「専門的価値」について、グローバル定義を踏まえながら、また、普段の業務を振り返りながら再確認することができました。その中でも個人情報の取り扱いについては、改めてその重要性を確認することができました。私たちSSWは業務を行う上で、子どもや家庭に関する様々な個人情報を収集・整理し、支援を立てていきます。個人の情報を扱うことは業務上欠かせないものであり、普段から個人情報に触れる機会が多いため、その管理が甘くなってしまう、軽んじてしまう実態があると改めて知り、一層、個人情報の取り扱いには注意を払わなければならないと感じました。

また、県内の他の市町村のSSWと個人情報や倫理基準に関する意見交換を行い、自分と異なる観点から考えることができたことも、とても良い機会になりました。ありがとうございました。



研修レポートⅡ

福岡市教育委員会 内野 有梨

前半の基礎研修では、福岡県教育庁義務教育課 辻指導主事から「生徒指導」、「問題行動の現状と課題」、そして「連携」についてお話をいただきました。今回、生徒指導をする究極の目的を知り、理解することで大きく印象や見方が変わったように思えます。問題行動の現状と課題については、暴力行為・いじめ・不登校についてそれぞれの現状と課題を学ぶことができ、問題行動の背景や課題に合わせた個別指導の在り方や、新たに生ませないために予防的取り組みが大事だと教えていただきました。子どもたちの表情や行動の変化、学級の雰囲気など先生方と日々、情報交換しながら子どもたちを守るために連携していきたいと思えます。

後半の特別研修では、門田先生から専門職としての「価値や倫理」についてお話をいただきました。学校の中には、あらゆる個人情報が出ていて、みんなで共有するとこれ程にもあるのかと改めて驚かされました。職員室の風景を思い浮かべると冷汗が出ます。これらの情報がもし漏えいしたら…と本当に怖いです。情報の取り扱い次第で、尊厳を傷つけられ、悲しみ、不信に思う人がいるかもしれません。自身の言動を常に確認し、慎重な対応をしていかなければならないと感じ、改めて身が引き締まる思いでした。

いつも貴重な研修をありがとうございます。日々の実践にしっかり活かしていきたいと思えます。



Back Number

過去に開催された研修会等のプログラムをご紹介するコーナーです

第1回 Asia Network of School Social Work 国際大会 in 福岡
福岡県スクールソーシャルワーカー協会第8回大会

「スクールソーシャルワーカーの人材育成」

日時:2019年10月12日(土) 13:10~17:10
会場:西南学院大学 西南学院百年館



[大会プログラム]

13:00 開会式(各国協会代表挨拶)

福岡:門田 光司 (FASSW 会長)

韓国:Woong Choi (KASSW 会長)

台湾:Min-Yu Liao (TASSW 会長)

シンガポール:Wong Yuh Ju,Peace (国立シンガポール大学, 上級講師)

13:30 各国(福岡・韓国・台湾)の協会制作動画放映

タイトル「スクールソーシャルワーカーの1日」(各10分程度)

〈動画紹介〉

福岡:土井 幸治 (志免町教育委員会スクールソーシャルワーカー)

韓国:Jin Joo Kim (KASSW, Director of General affairs)

台湾:Pei-Rong Chen (Student Guidance and Counseling Center, New Taipei City, Supervisor of School Social Work)

14:30 休憩

14:40 シンポジウム

テーマ「スクールソーシャルワーカーの人材養成」(各30分程度)

福岡報告:高口 恵美 (西南女学院大学講師・福岡県スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー)

韓国報告:Tae In Lee, Hyeslin Hwang, and Se Na Choi (Education and Society, Researcher)

台湾報告:Ying-Lin Su (Student Guidance and Counseling Center, New Taipei City Supervisor of School Social Work)

シンガポール報告:Wong Yuh Ju,Peace (国立シンガポール大学, 上級講師)



17:00 質疑応答

17:10 終了



福岡県スクールソーシャルワーカー協会第7回大会

「10+1—新たなスタート—」

日時:2018年8月25日(土) 13:30~16:45

場所:九州工業大学

[大会プログラム]

12:30 受付

13:30 第1部開始

【児童虐待】

発題者:丹後 ちはる(福岡市教育委員会他)

廣瀬 亜美(北九州市教育委員会他)

コーディネーター:田中 惟子(北九州市教育委員会他)

コメンテーター:池田 敏(福岡市教育委員会/協会運営委員)

【不登校】

発題者:荻本 祥子(久留米市教育委員会)

嶽 薫(大野城市教育委員会)

コーディネーター:前屋敷 なな子(福岡市教育委員会)

コメンテーター:横山 明希(福岡市教育委員会/協会運営委員)

【精神疾患】

発題者:今釜 実優(福岡市教育委員会他)

平川 明美(中間市教育委員会他)

コーディネーター:後藤 哲也(福岡市教育委員会他)

コメンテーター:高口 恵美(西南女学院大学/協会運営委員)

15:00 第1部終了

15:15 第2部開始

【貧困】

発題者:渡邊 聡子(福智町教育委員会他)

永瀬 由季(福岡市教育委員会他)

コーディネーター:徳永 知代(福岡市教育委員会他)

コメンテーター:奥村 賢一(福岡県立大学/協会副会長)

【いじめ】

発題者:古賀 幸広(香春町教育委員会)

山内 未紗希(須恵町教育委員会)

コーディネーター:濱 とおこ(朝倉市教育委員会他)

コメンテーター:土井 幸治(志免町教育委員会/協会運営委員)



【発達障がい】

発題者:田中 万里恵(対馬市教育委員会)

井上 由紀(大牟田市教育委員会)

コーディネーター:角田 かおり(北九州市教育委員会他)

コメンテーター:門田 光司(久留米大学/協会会長)

16:45 第2部終了

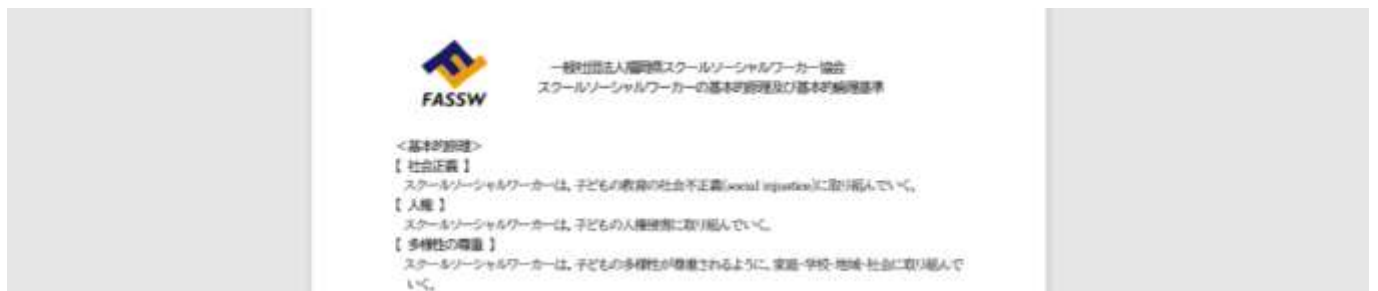
18:00 情報交換会



TOPIC

スクールソーシャルワーカーの基本的原理及び基本的倫理基準の策定について

この度、一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会では、「スクールソーシャルワーカーの基本的原理及び基本的倫理基準」を策定いたしました。当協会の会員であるスクールソーシャルワーカーは、この基本的原理及び基本的倫理基準に則り、学校ソーシャルワーク専門職として子どもの教育保障に向けた自覚と責任ある活動に努めます。詳しい内容につきましては、協会HP (<https://www.fassw-2012.jp/images/20201111.pdf>)よりご覧ください。



一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会広報誌 Relations Vol.12

発刊日 2020年11月20日

発行責任者 奥村 賢一

企画・編集 (広報委員会) 奥村 賢一、上野 健太、浦田 梨央、永瀬 由季

《お問い合わせ》

一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会事務局

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4丁目2番1号

北九州市立大学地域創生学群・基盤教育センター 寺田千栄子研究

Tel 080-3356-4214 E-mail info@fassw-2012.jp